

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 4 月 20 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県釜石市松原町3丁目10番22号
小澤ビル2階

氏 名 株式会社 小 澤 組

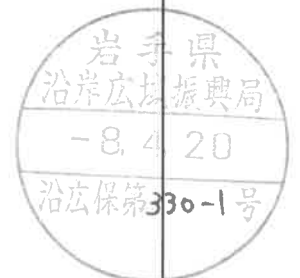
代表者取締役 小 澤 二 郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0193-22-2541

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 小 澤 組
事業場の所在地	岩手県一円（盛岡市を除く）
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 9.8億円
③ 従業員数	38名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1を参照

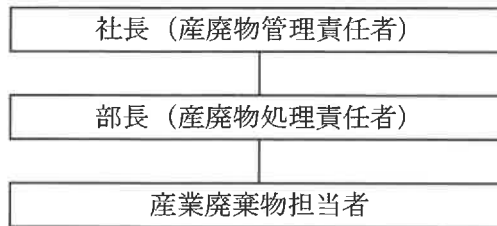


（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻（無筋）	コンクリート殻（有筋）
	排出量	53.60 t	1,270.63 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻（無筋）	コンクリート殻（有筋）
	排出量	50.00 t	1,000.00 t
	（今後実施する予定の取組） 分別解体を行い、再利用と最終処分に区分する		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	アスコン殻	その他がれき類
	排出量_	1,005.77 t	1.28 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	アスコン殻	その他がれき類
	排出量_	500.00 t	10.00 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類
	排出量_	97.98 t	6.09 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類
	排出量_	100.00 t	5.00 t
	(今後実施する予定の取組) 分別を行い、再利用と最終処分に区分する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合（安定型のみ）
	排出量	0.05 t	1.33 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合（安定型のみ）
	排出量	5.00 t	1.00 t
	（今後実施する予定の取組） 分別解体を行い、再利用と最終処分に区分する		
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排出量	1.61 t	54.69 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	排出量	5.00 t	50.00 t
	（今後実施する予定の取組） 木くず 分別を行い、燃料としての再利用と最終処分に区分する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず [※] (枝・幹・立木)	木くず (伐根材)
	排出量	0.00 t	181.23 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず [※] (枝・幹・立木)	木くず (伐根材)
	排出量	5.00 t	50.00 t
	(今後実施する予定の取組) 木くず 分別を行い、燃料としての再利用と最終処分に区分する		
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	排出量	5.85 t	23.34 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	排出量	5.00 t	20.00 t
	(今後実施する予定の取組) 分別を行い、再利用と最終処分に区分する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	水銀使用製品産業廃棄物	廃石綿等
	排出量_	0.01 t	0.04 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	水銀使用製品産業廃棄物	廃石綿等
	排出量_	0.10 t	1.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	混合（管理型）	紙くず
	排出量_	1.35 t	0.01 t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	混合（管理型）	紙くず
	排出量_	1.50 t	0.50 t
	(今後実施する予定の取組) 分別解体を行い、再利用と最終処分に区分する		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材（安定型）	石綿含有建材（特別管理型） 汚泥等
	排出量	105.66 t	3.54 t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材（安定型）	石綿含有建材（特別管理型） 汚泥等
	排出量	100.00 t	5.00 t
	（今後実施する予定の取組） 分別解体を行い、最終処分として処理する		
①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻（無筋）	コンクリート殻（有筋）
	全処理委託量	53.60 t	1,270.63 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	53.60 t	1,270.63 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスコン殻	その他がれき類
	全処理委託量	1,005.77 t	1.28 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,005.77 t	1.28 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	97.98 t	6.09 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	97.98 t	6.09 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	混合（安定型のみ）
	全 処 理 委 託 量	0.05 t	1.33 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.05 t	1.33 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	木くず
	全 処 理 委 託 量	1.61 t	54.69 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1.61 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	54.69 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず (枝・幹・立木)	木くず (伐根材)
	全 処 理 委 託 量	0.00 t	181.23 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	181.23 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	繊維くず	廃石膏ボード
	全 処 理 委 託 量	5.85 t	23.34 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5.85 t	23.34 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	水銀使用製品産業廃棄物	廃石綿等
	全 処 理 委 託 量_	0.01 t	0.04 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.01 t	0.04 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	混合（管理型）	紙くず
	全 処 理 委 託 量_	1.35 t	0.01 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.35 t	0.01 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材（安定型）	石綿含有建材（特別管理型） 汚泥等
	全処理委託量	105.66 t	3.54 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	105.66 t	3.54 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻（無筋）	コンクリート殻（有筋）
	全処理委託量	50.00 t	1,000.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	50.00 t	1,000.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生処理業者の委託を積極的に行う。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	水銀使用製品産業廃棄物	廃石綿等
	全 処 理 委 託 量_	0.10 t	1.00 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.10 t	1.00 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生処理業者の委託を積極的に行う。		
※事務処理欄			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	混合（管理型）	紙くず
	全 処 理 委 託 量_	1.50 t	0.50 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1.50 t	0.50 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生処理業者の委託を積極的に行う。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材 (安定型)	石綿含有建材 (特別管理型(汚泥))
	全処理委託量	100.00 t	5.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	100.00 t	5.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生処理業者の委託を積極的に行う。		
※事務処理欄			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生処理業者の委託を積極的に行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 全 体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段: 前年度実績値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	2,814.06	1,914.10
②+⑧自ら再生利用を行った量		
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量	2,814.06	1,914.10
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.61	5.00
⑫再生利用業者への処理委託量	2,812.45	1,909.10
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

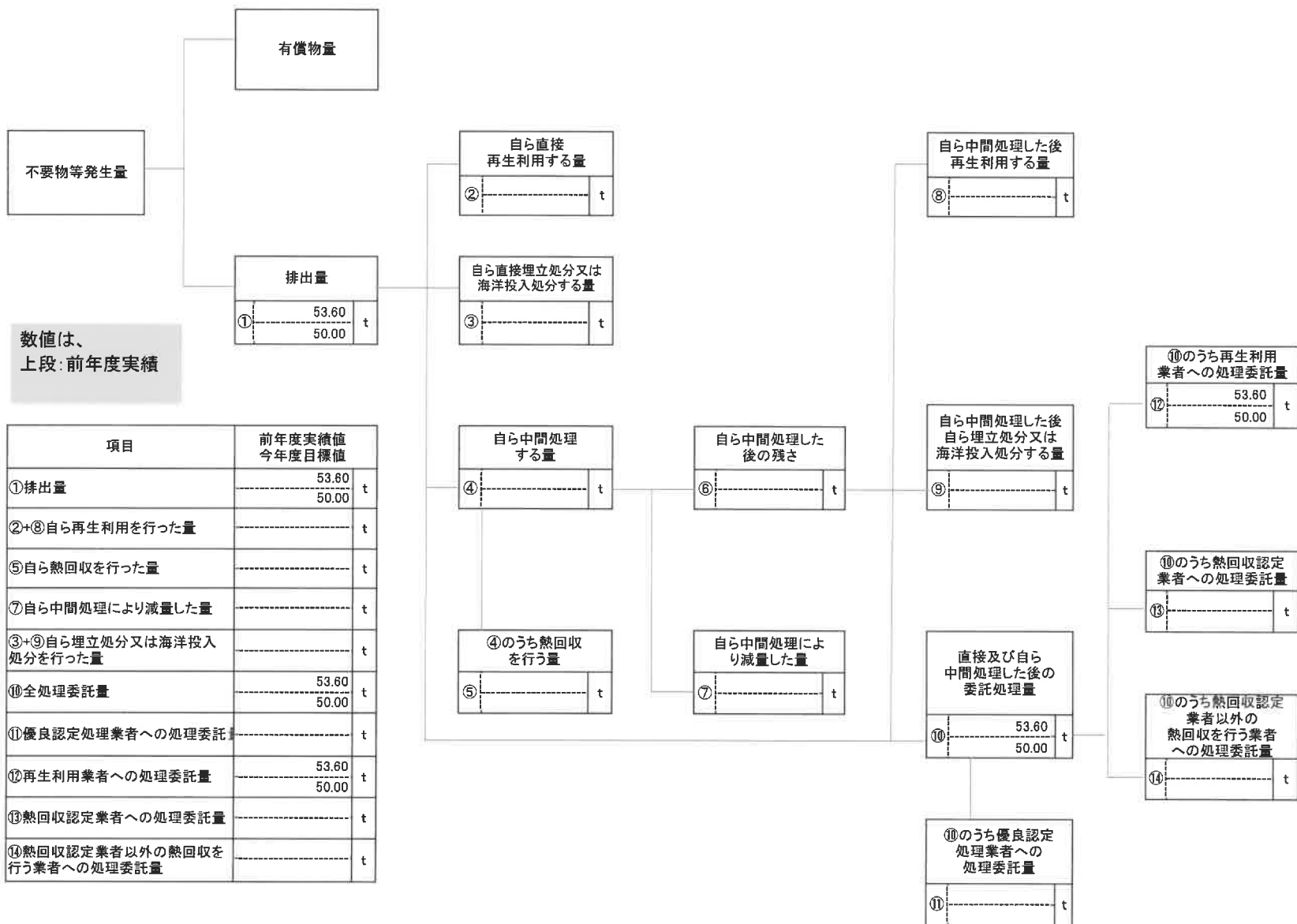
⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

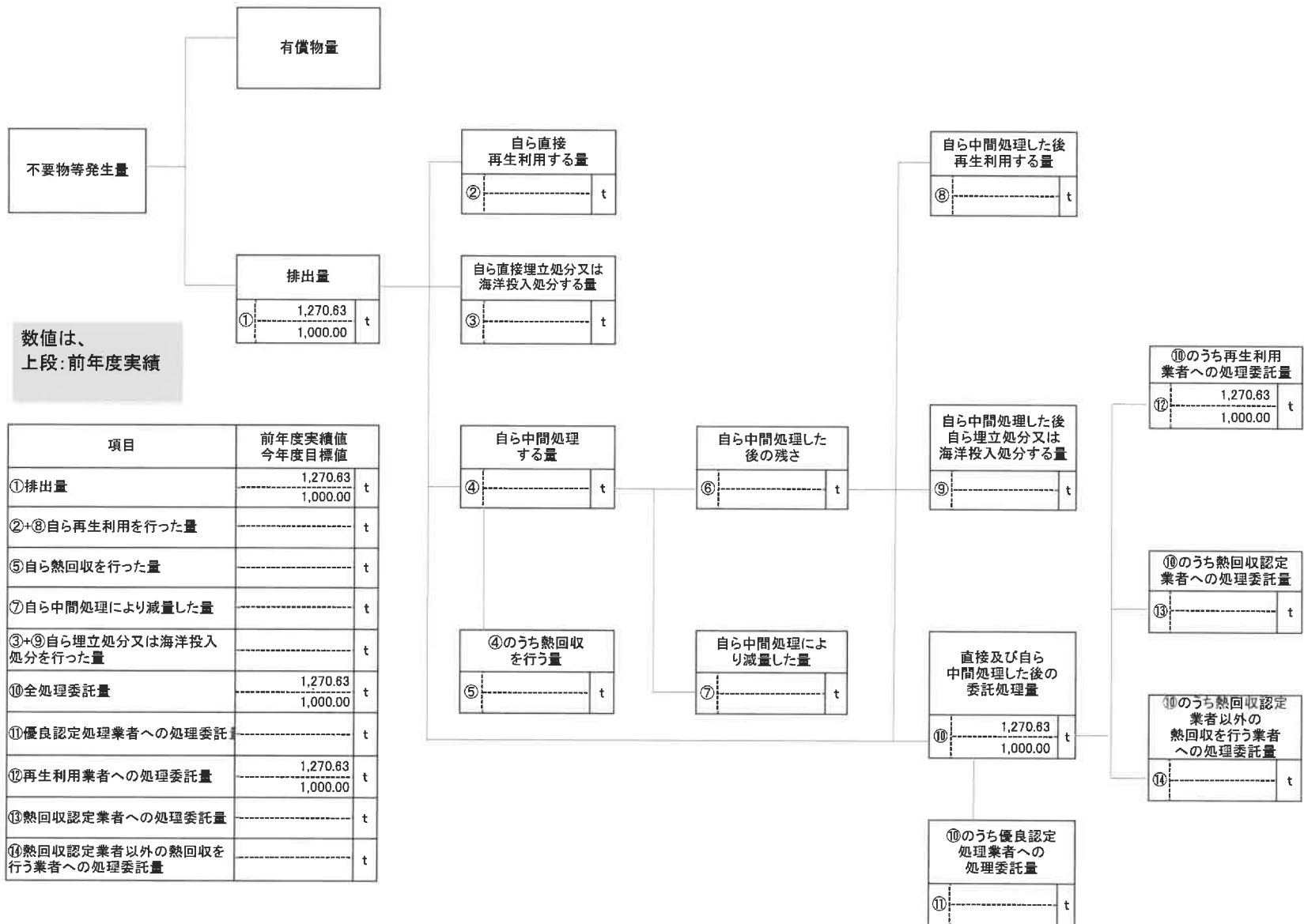
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

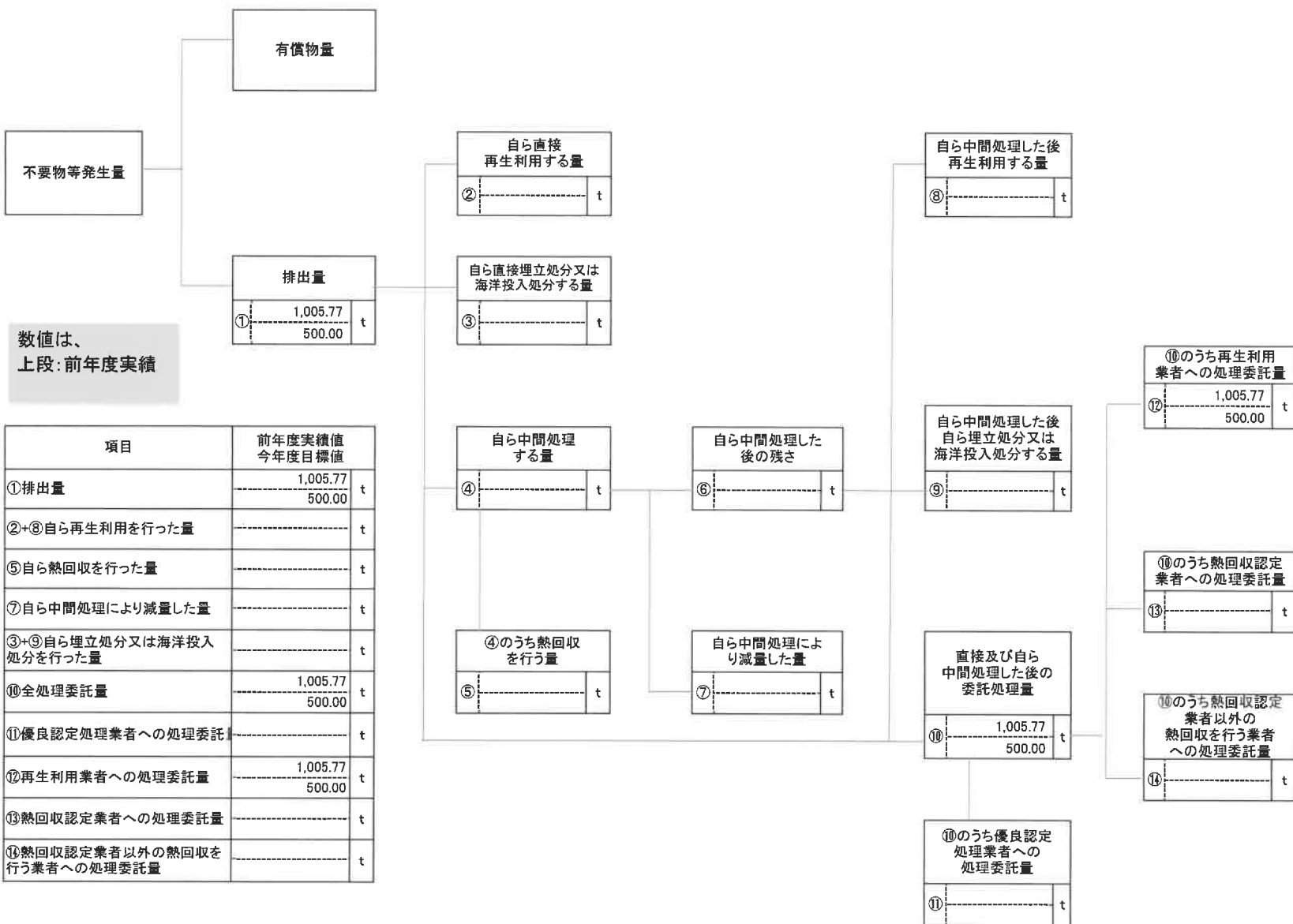
(産業廃棄物の種類: コンクリート殻(無筋))



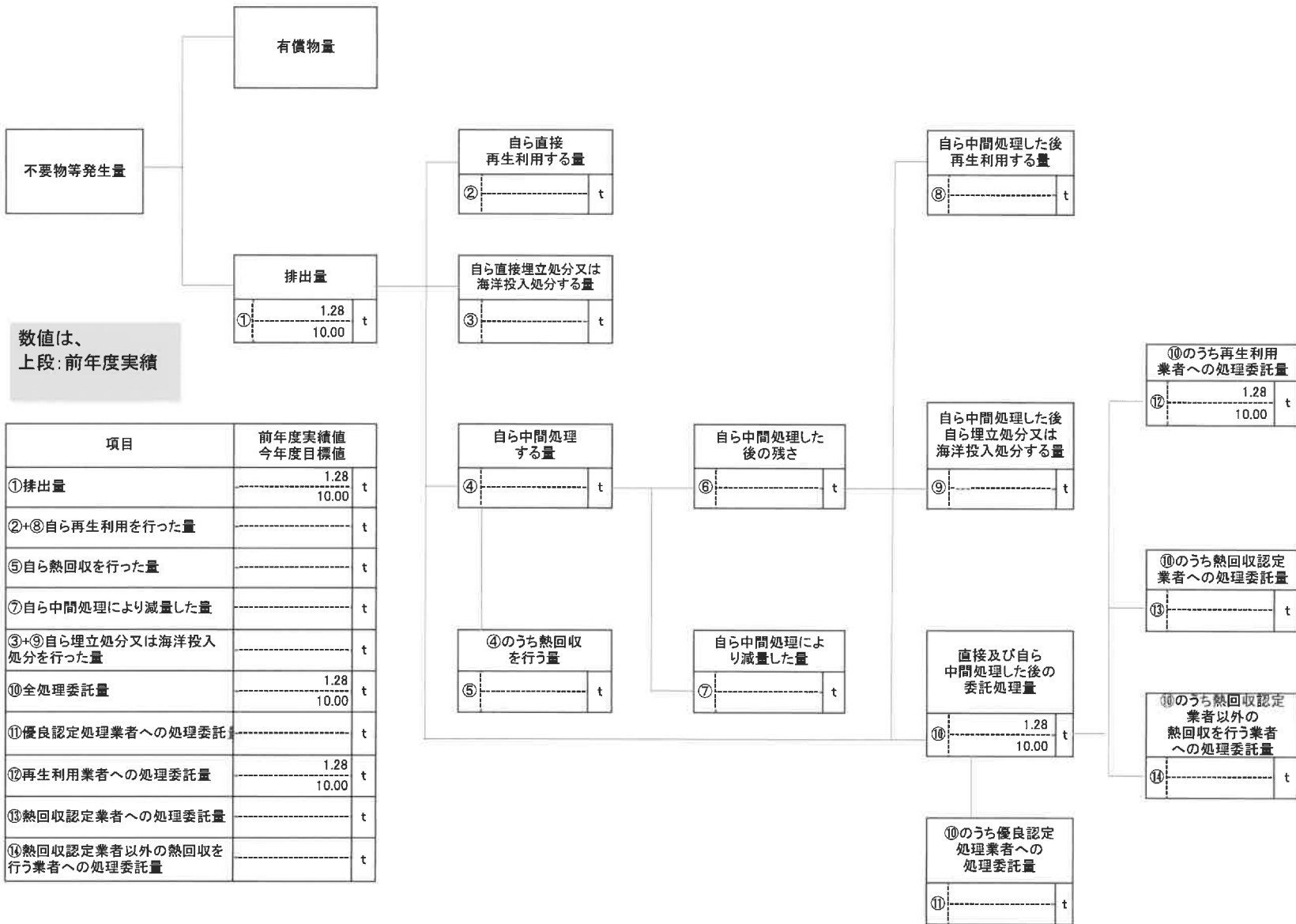
(産業廃棄物の種類: コンクリート殻(有筋))



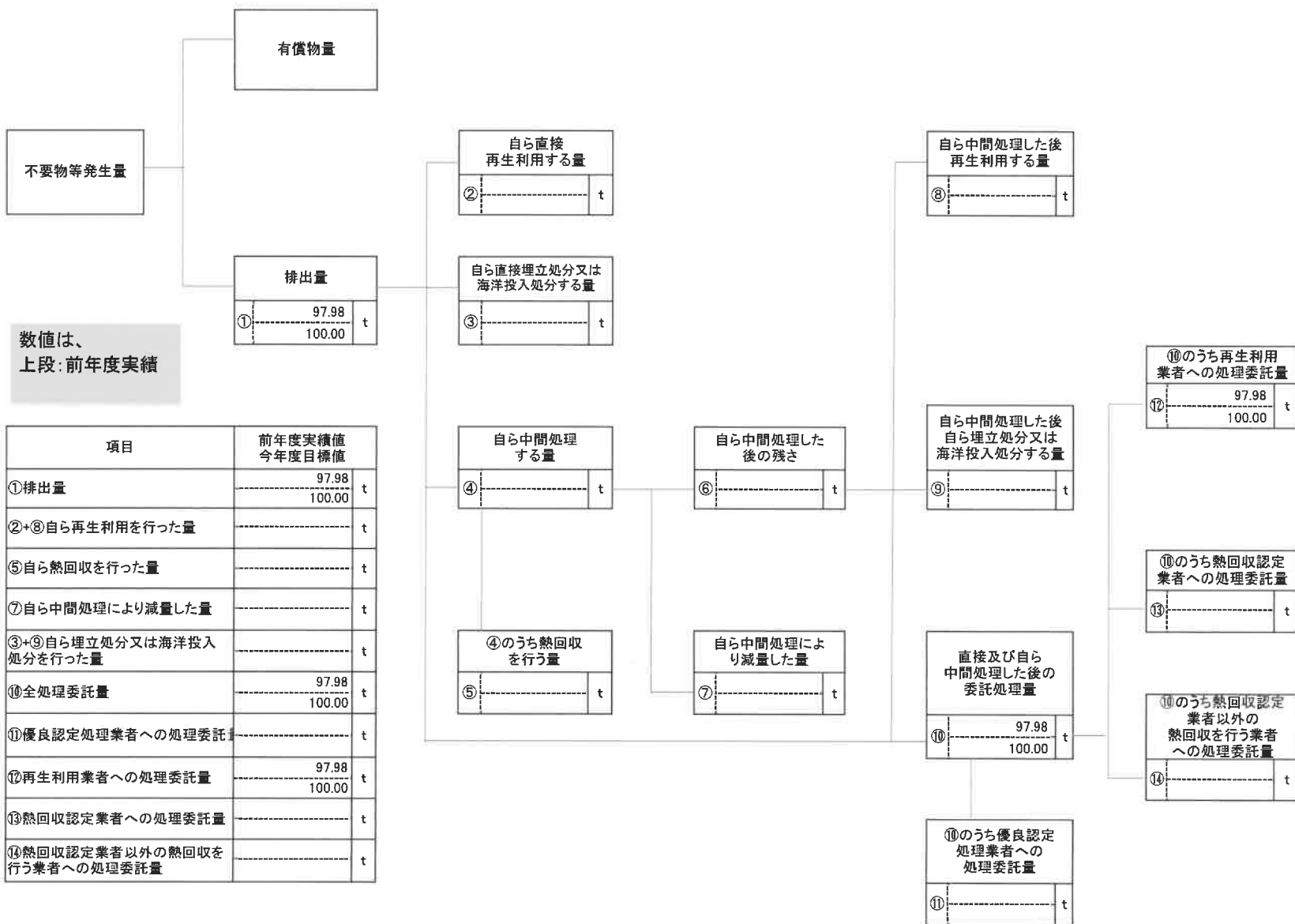
(産業廃棄物の種類: アスコン殻)



(産業廃棄物の種類: その他がれき類)



(産業廃棄物の種類: ガラス・陶磁器くず)



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 6.09
5.00 t

自ら直接再生利用する量

② t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③ t

自ら中間処理する量

④ t

④のうち熱回収を行う量

⑤ t

自ら中間処理した後の残さ

⑥ t

自ら中間処理により減量した量

⑦ t

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧ t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨ t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩ 6.09
5.00 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 6.09
5.00 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ t

数値は、
上段: 前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	6.09 5.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	6.09 5.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量	6.09 5.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	0.05			5.00	t
---	------	--	--	------	---

自ら直接再生利用する量

②					t
---	--	--	--	--	---

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③					t
---	--	--	--	--	---

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧					t
---	--	--	--	--	---

数値は、
上段: 前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	0.05	5.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量			t
⑤自ら熱回収を行った量			t
⑦自ら中間処理により減量した量			t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量			t
⑩全処理委託量	0.05	5.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量			t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.05	5.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量			t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t

自ら中間処理する量

④					t
---	--	--	--	--	---

④のうち熱回収を行う量

⑤					t
---	--	--	--	--	---

自ら中間処理した後の残さ

⑥					t
---	--	--	--	--	---

自ら中間処理により減量した量

⑦					t
---	--	--	--	--	---

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨					t
---	--	--	--	--	---

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩	0.05			5.00	t
---	------	--	--	------	---

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪					t
---	--	--	--	--	---

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫	0.05			5.00	t
---	------	--	--	------	---

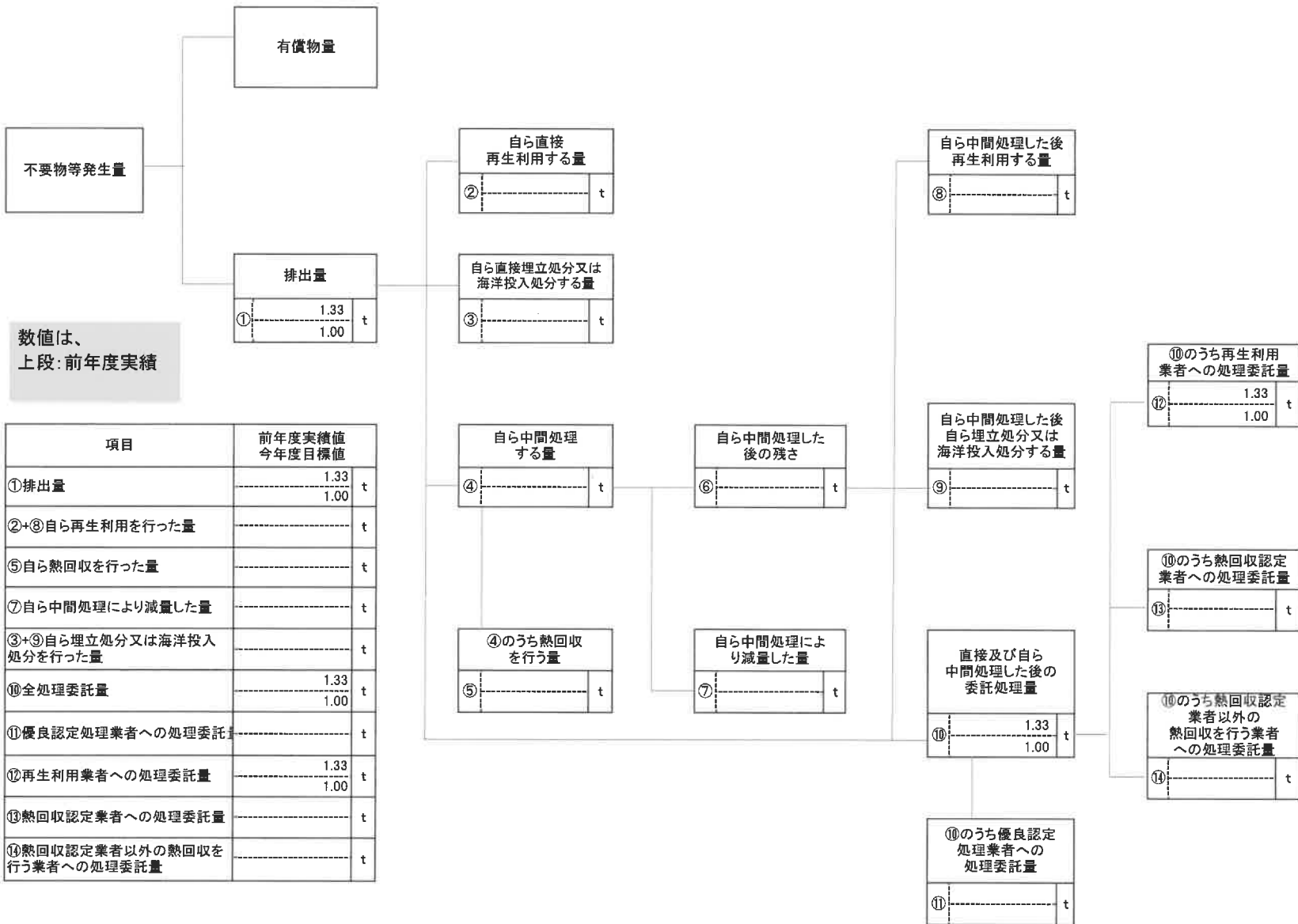
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬					t
---	--	--	--	--	---

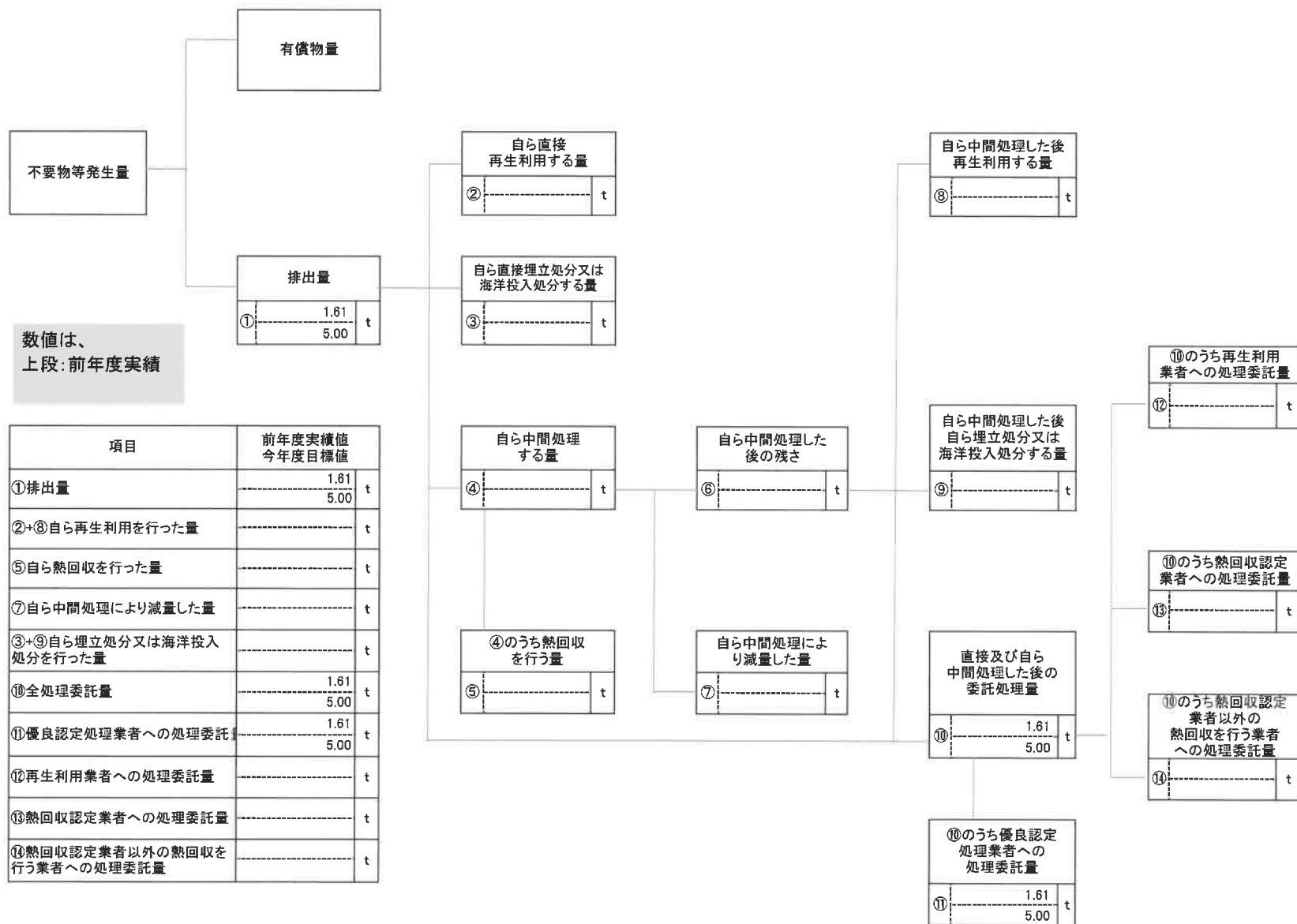
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭					t
---	--	--	--	--	---

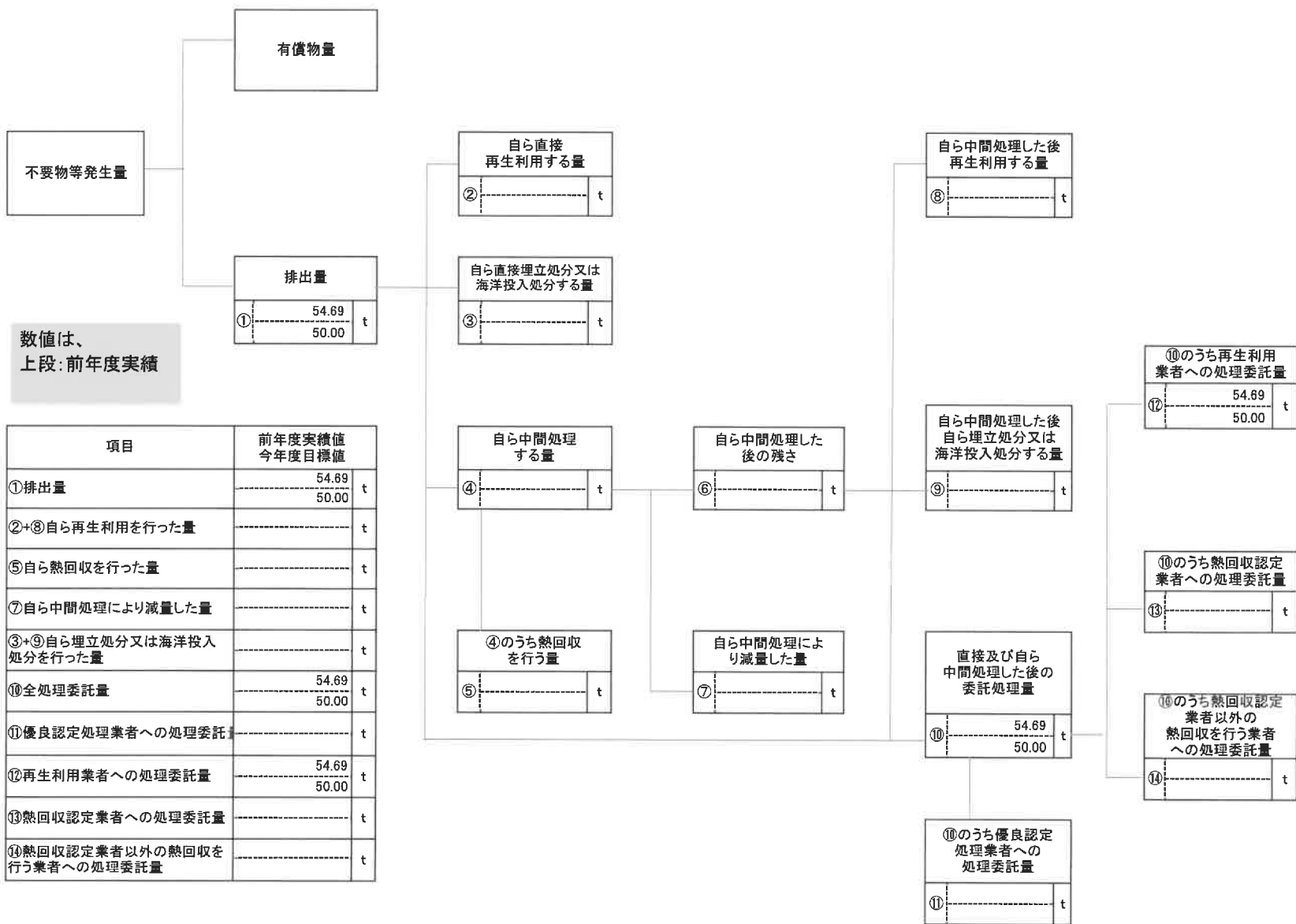
(産業廃棄物の種類: 混合(安定型))



(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



(産業廃棄物の種類: 木くず)



(産業廃棄物の種類: 木くず(枝・幹・立木))

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 0.00 t
5.00 t

自ら直接再生利用する量

② t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③ t

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧ t

数値は、
上段: 前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	0.00	5.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量			t
⑤自ら熱回収を行った量			t
⑦自ら中間処理により減量した量			t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量			t
⑩全処理委託量	0.00	5.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量			t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00	5.00	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量			t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t

自ら中間処理する量

④ t

自ら中間処理した後の残さ

⑥ t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨ t

④のうち熱回収を行う量

⑤ t

自ら中間処理により減量した量

⑦ t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩ 0.00 t
5.00 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 0.00 t
5.00 t

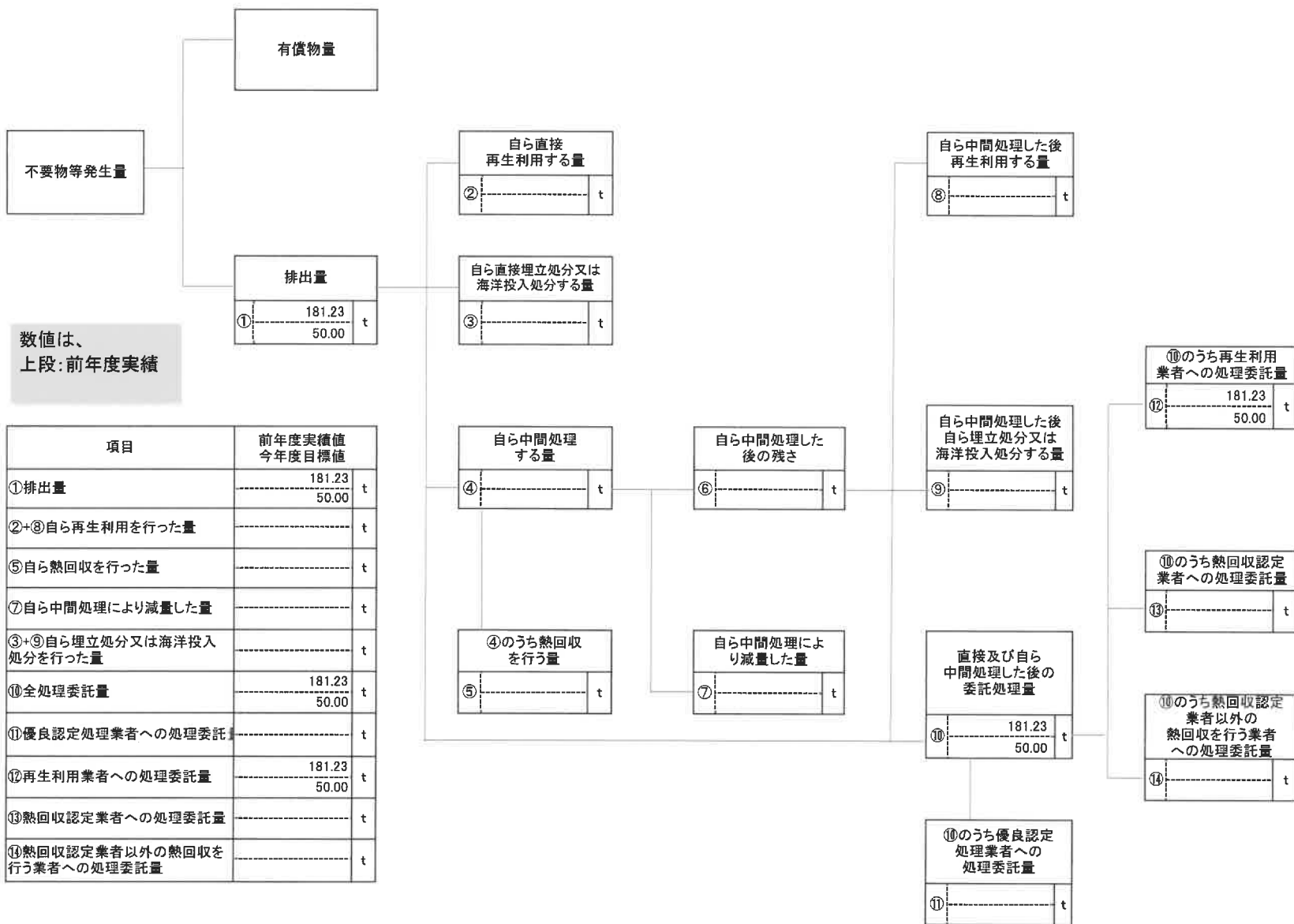
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ t

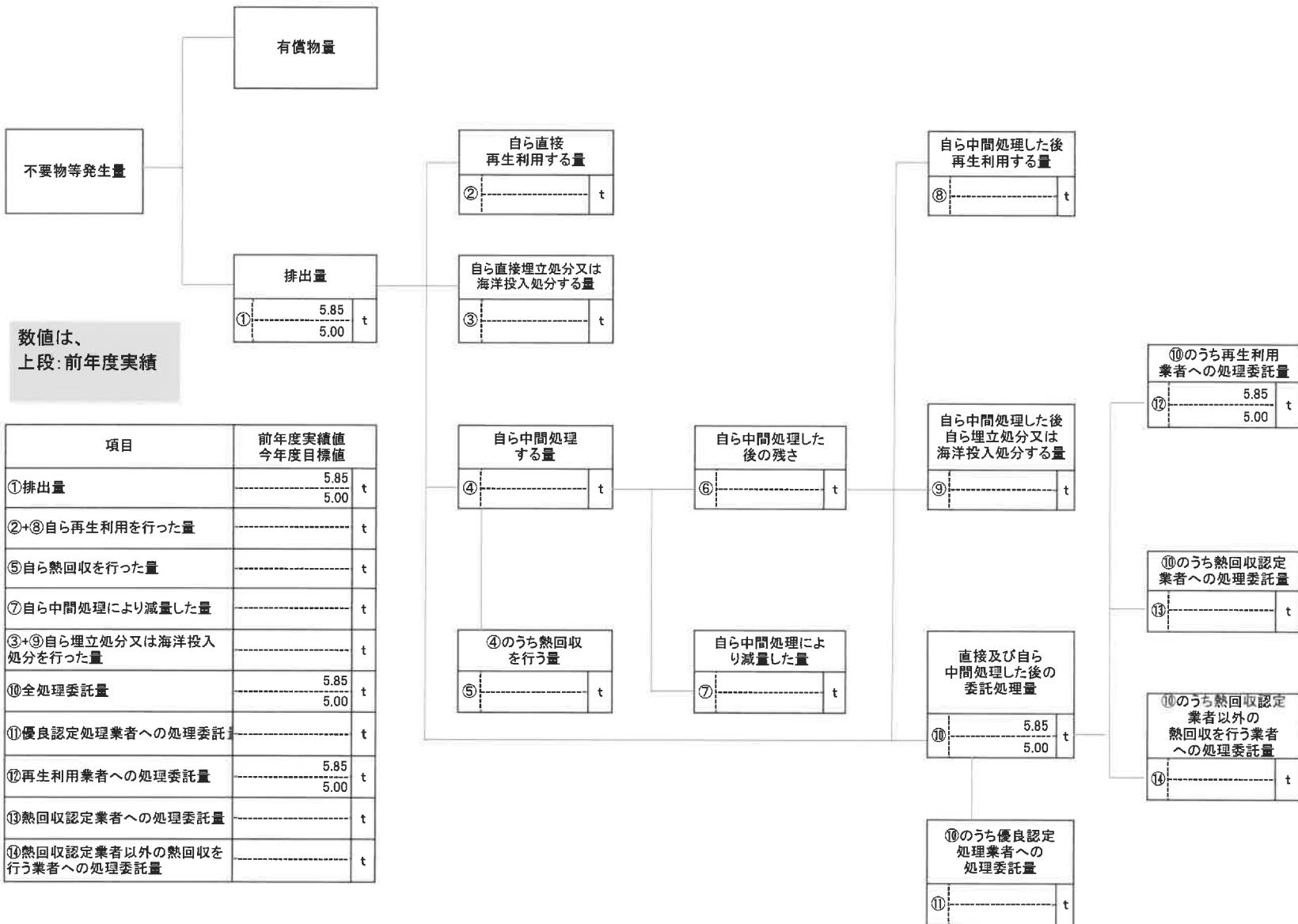
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ t

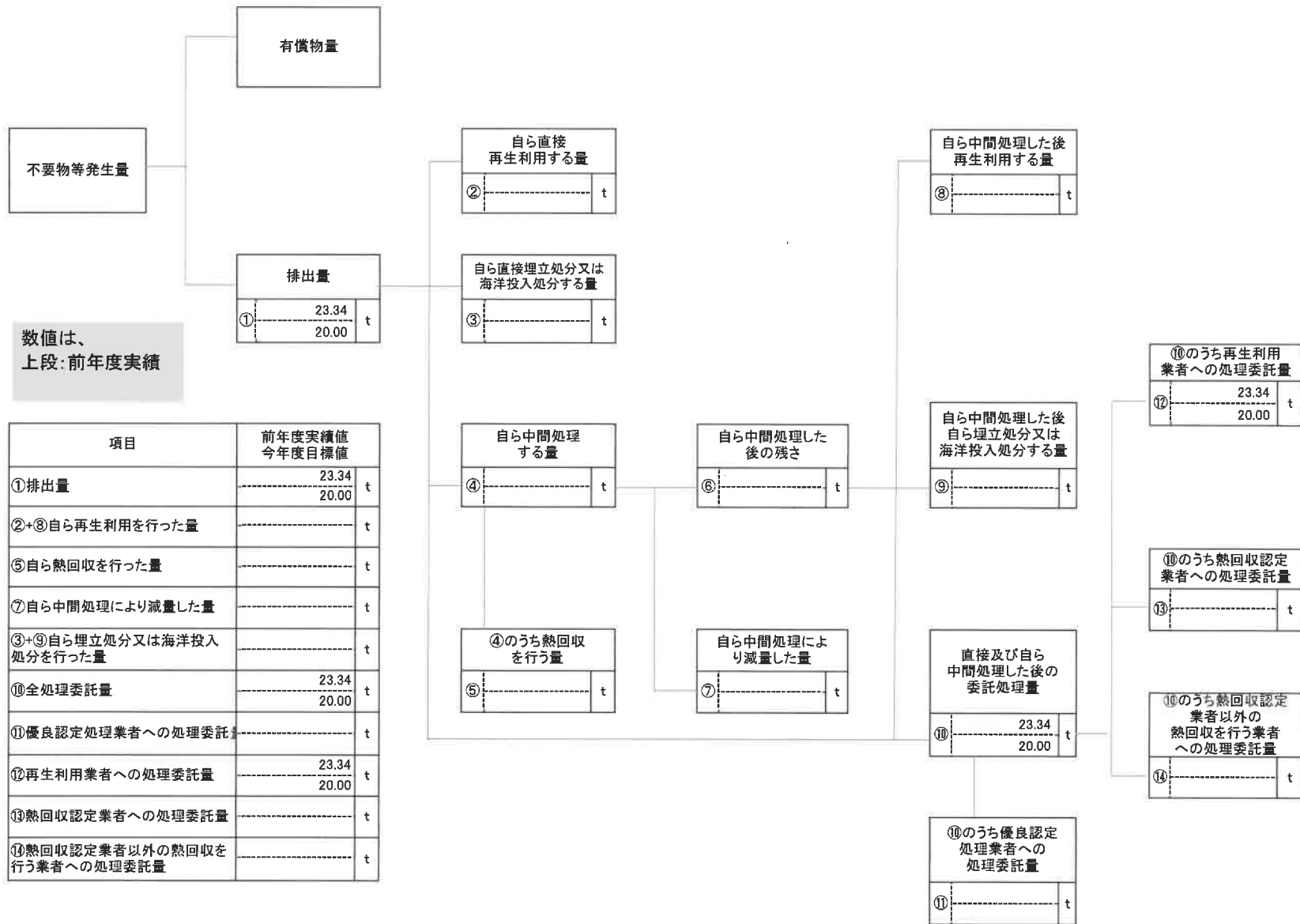
(産業廃棄物の種類: 木くず(伐根材))



(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)



(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品産業廃棄物)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

自ら直接再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③

自ら中間処理する量

④

④のうち熱回収を行う量

⑤

自ら中間処理した後の残さ

⑥

自ら中間処理により減量した量

⑦

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

数値は、
上段: 前年度実績

項目	前年度実績値	今年度目標値	
①排出量	0.01	0.10	t
②+⑧自ら再生利用を行った量			t
⑤自ら熱回収を行った量			t
⑦自ら中間処理により減量した量			t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量			t
⑩全処理委託量	0.01	0.10	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量			t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.01	0.10	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量			t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t

(産業廃棄物の種類: 廃石綿等)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	0.04	t
	1.00	

自ら直接再生利用する量

②		t
---	--	---

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③		t
---	--	---

自ら中間処理する量

④		t
---	--	---

自ら中間処理した後の残さ

⑥		t
---	--	---

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧		t
---	--	---

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨		t
---	--	---

④のうち熱回収を行う量

⑤		t
---	--	---

自ら中間処理により減量した量

⑦		t
---	--	---

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩	0.04	t
	1.00	

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫	0.04	t
	1.00	

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

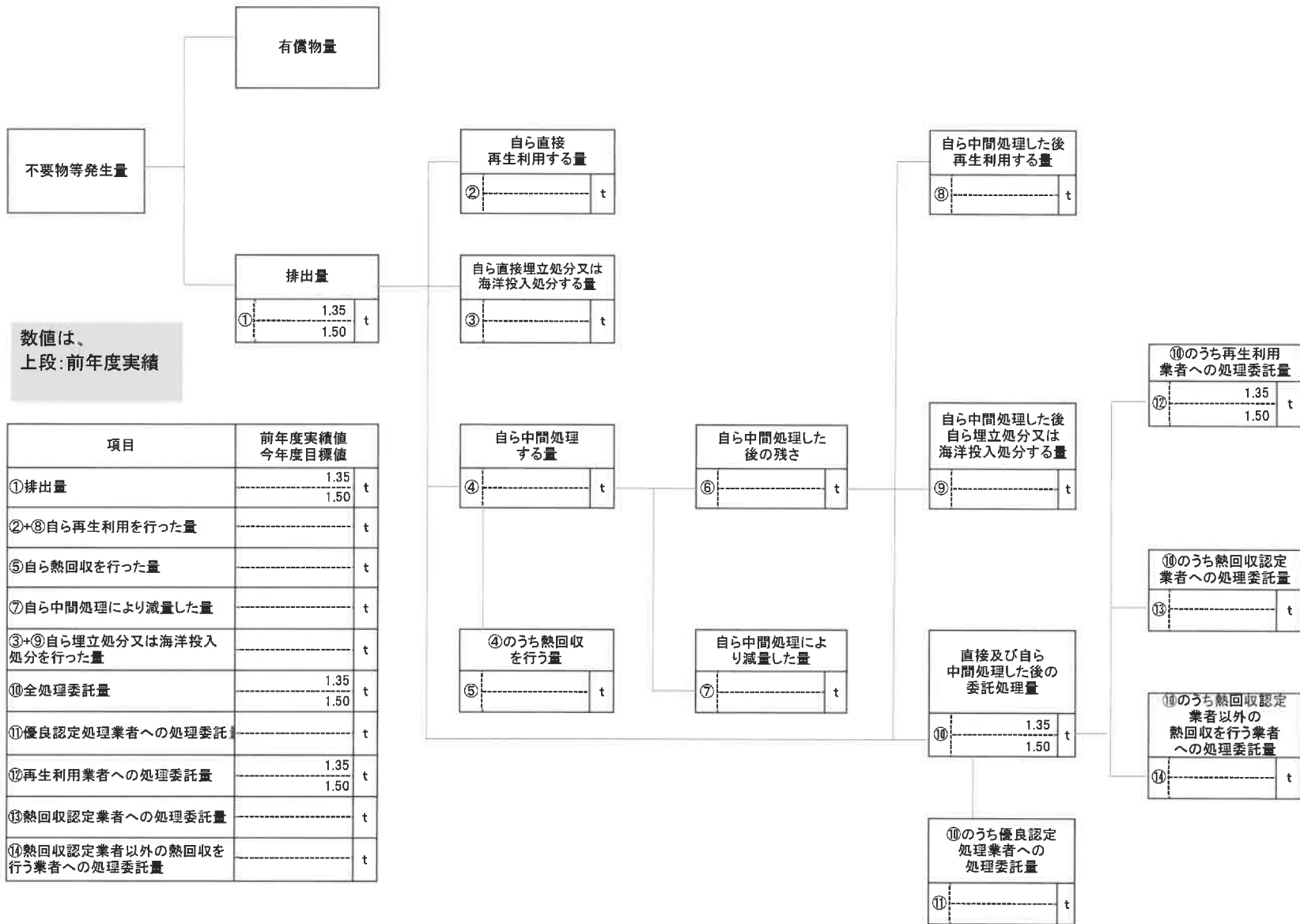
⑭		t
---	--	---

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

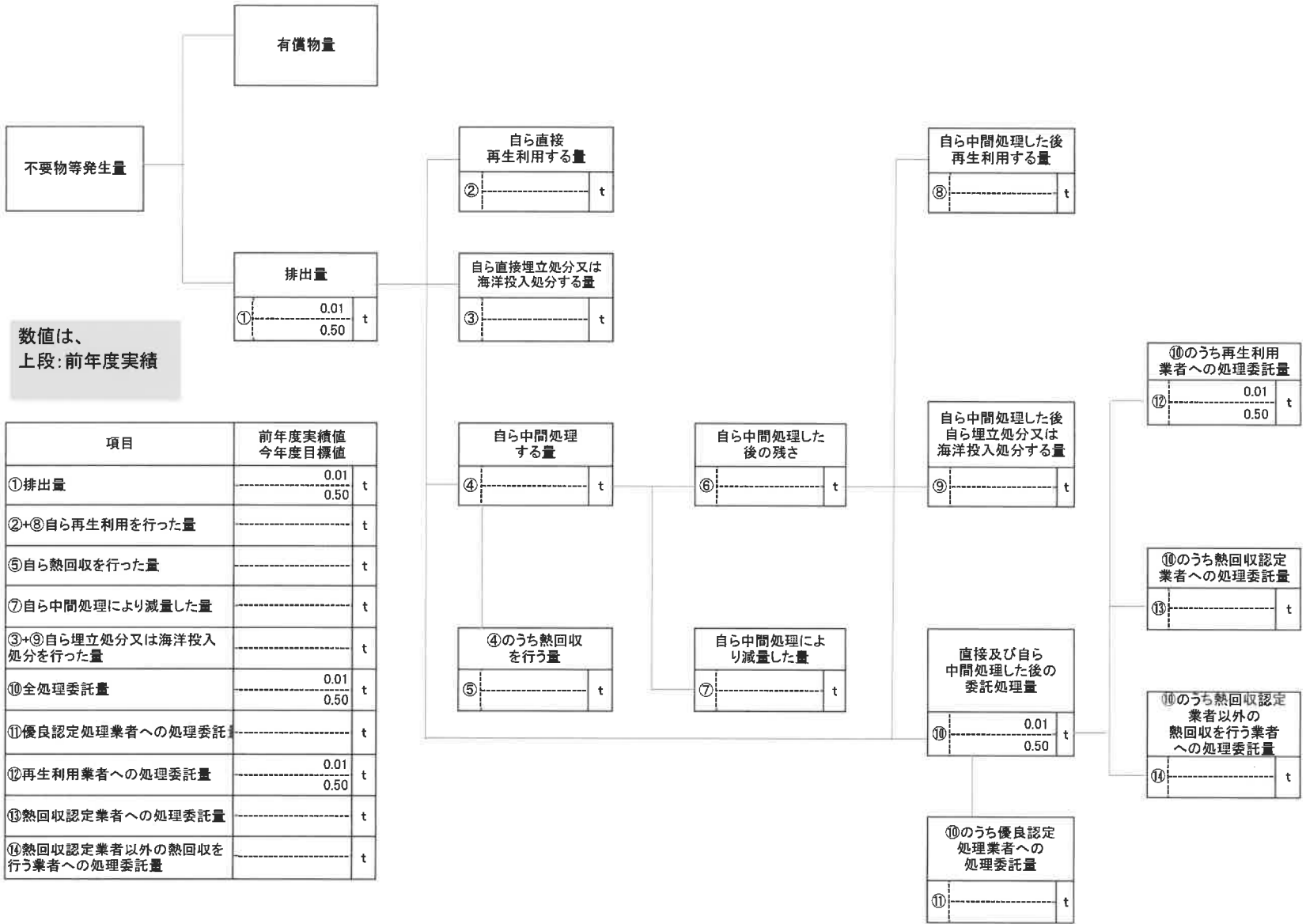
⑪		t
---	--	---

数値は、
上段: 前年度実績

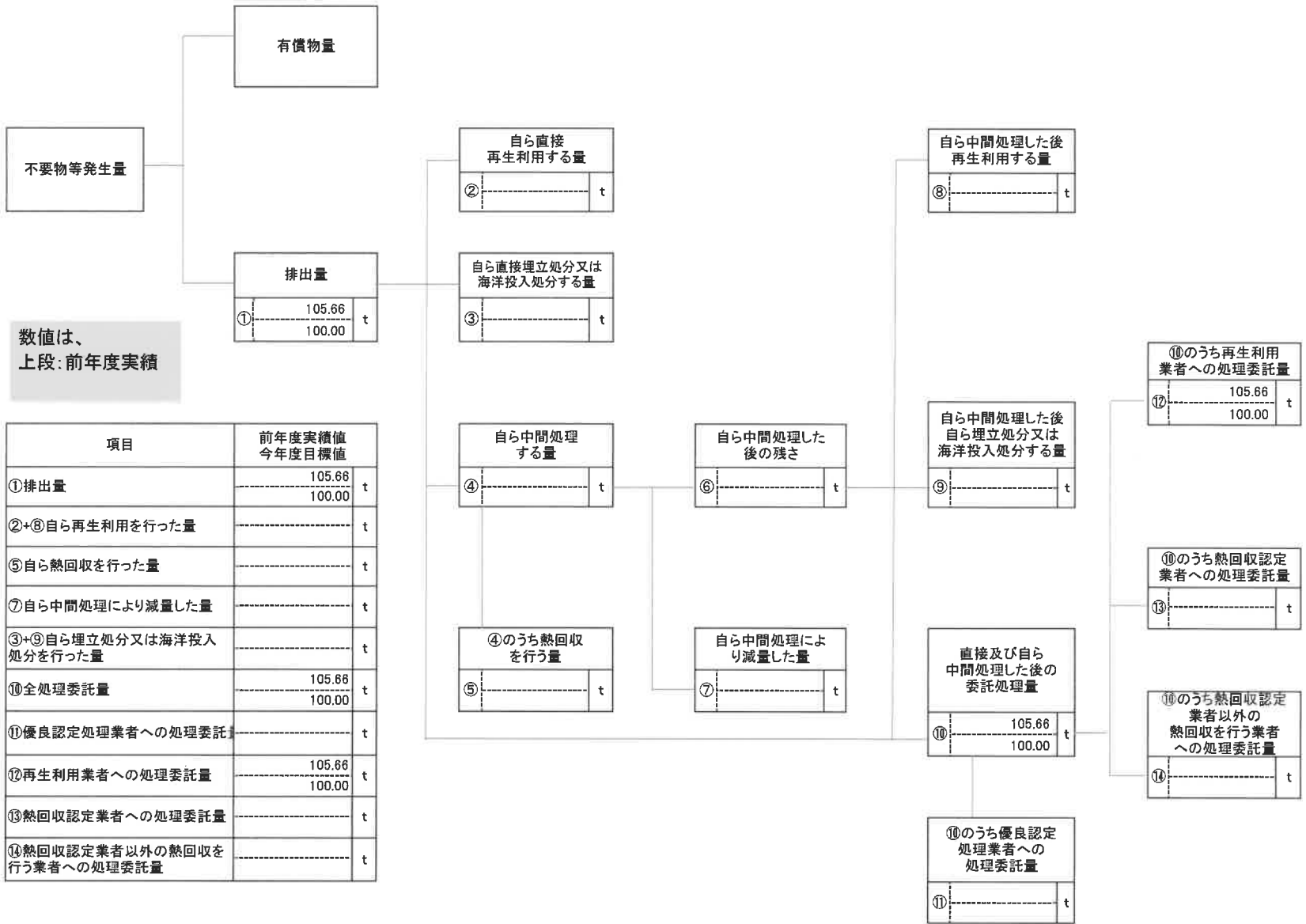
(産業廃棄物の種類: 混合(管理型))



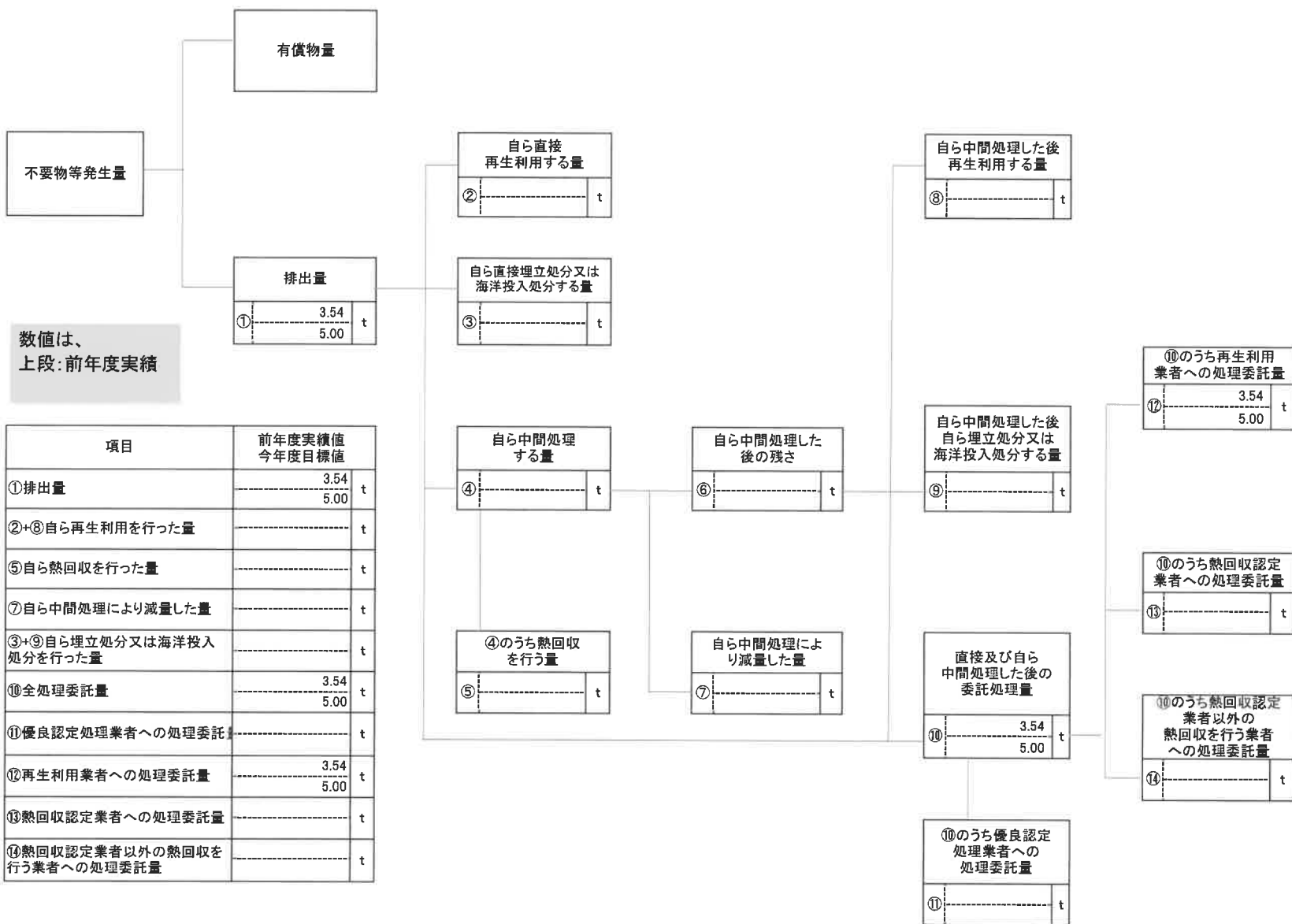
(産業廃棄物の種類: 紙くず)



(産業廃棄物の種類: 石綿含有建材(安定型))



(産業廃棄物の種類: [石綿含有建材(特別管理型) 汚泥])



産業廃棄物の一連の処理フロー図



多量排出事業者による報告書

令和7年度 産業廃棄物処理数量集計表

提出先：岩手県庁資源循環推進課(沿岸広域振興局 保険福祉環境部 環境衛生課 提出)

報告者：株式会社 小澤組

	産業廃棄物の種類	7年度搬出数量	8年度計画数量
①	コンクリート殻(無筋)	53.60	50.00
②	コンクリート殻(有筋)	1270.63	1000.00
③	アスコン殻	1005.77	500.00
④	その他がれき類	1.28	10.00
⑤	ガラス・陶磁器くず	97.98	100.00
⑥	廃プラスチック類	6.09	5.00
⑦	金属くず	0.05	5.00
⑯	混合(安定型)	1.33	1.00
⑧	建設汚泥	1.61	5.00
⑨	木くず	54.69	50.00
⑩	木くず(枝・幹・立木)	0.00	5.00
⑪	木くず(伐根材)	181.23	50.00
⑫	繊維くず	5.85	5.00
⑬	廃石膏ボード	23.34	20.00
⑭	水銀使用製品産業廃棄物	0.01	0.10
⑮	廃石綿等	0.04	1.00
⑯	混合(管理型)	1.35	1.50
⑰	紙くず	0.01	0.50
⑱	石綿含有建材(安定型)	105.66	100.00
⑲	石綿含有建材(特別管理型)汚泥	3.54	5.00
合 計		2814.06 t	1914.10 t

※

全体合計数量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量
2814.06 t	1.61	2812.45 t

多量排出事業者による報告書

令和7年度 産業廃棄物処理数量集計表(現場別) (令和7年4月1日～令和8年3月31日 間の排出集計)

提出先：岩手県庁資源循環推進課(沿岸広域振興局 保険福祉環境部 環境衛生課 提出)

報告者：株式会社 小澤組

	産業廃棄物の種類	釜石管内維持 補修工事	鳥谷坂トンネル 他修繕工事	遠野地区舗装 修繕工事	石塚トンネル 他修繕工事	老木地区 道路改良工事	洞泉地区配水管 布設替工事	野田団地市営 住宅解体工事	鶴住居2号線道路 改良工事(その2)	日管倉庫片付け 他現場	7年度搬出合計数量
①	コンクリート殻(無筋)	0.53			31.17		21.90				53.60
②	コンクリート殻(有筋)		6.11			5.03		1235.00	24.49		1270.63
③	アスコン殻	0.32		787.83	0.37		157.63		59.62		1005.77
④	その他がれき類							1.28			1.28
⑤	ガラス・陶磁器くず	6.10	89.48					2.37	0.03		97.98
⑥	廃プラスチック類	0.80	0.27		0.45	0.10		3.37	0.27	0.83	6.09
⑦	金属くず								0.05		0.05
⑩	混合(安定型)							1.19	0.14		1.33
⑧	建設汚泥			0.01	1.12		0.48				1.61
⑨	木くず	24.12			0.16	6.00	0.22	23.66	0.18	0.35	54.69
⑩	木くず(枝・幹・立木)										0.00
⑪	木くず(伐根材)								181.23		181.23
⑫	繊維くず	1.35						4.50			5.85
⑬	廃石膏ボード							23.34			23.34
⑭	水銀使用製品産業廃棄物							0.01			0.01
⑮	廃石綿等		0.04								0.04
⑯	混合(管理型)							1.35			1.35
⑰	紙くず							0.01			0.01
⑱	石綿含有建材(安定型)	7.76	89.48					8.42			105.66
⑲	石綿含有建材(特別管理型)汚泥							3.54			3.54
合 計											2814.06 t

※	全体合計数量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量
	2814.06 t	1.61 t	2812.45 t